

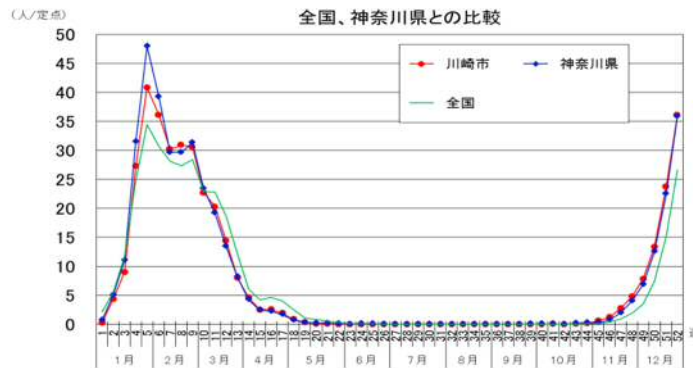
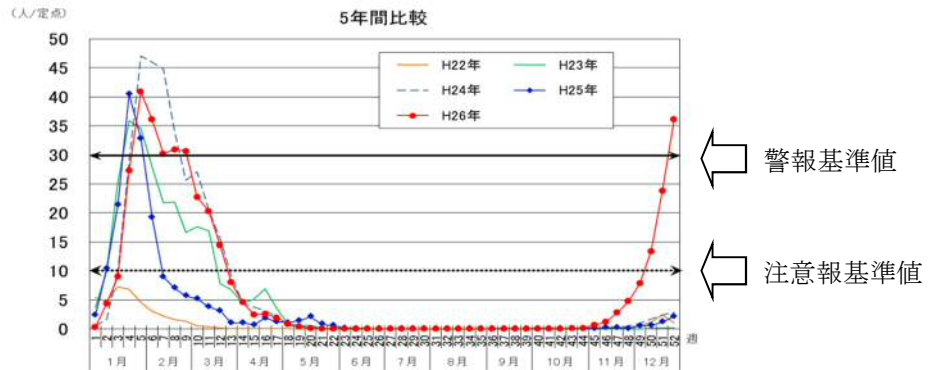
疾患別発生状況解析(平成26年9月～平成26年11月)

<インフルエンザ定点対象疾患>

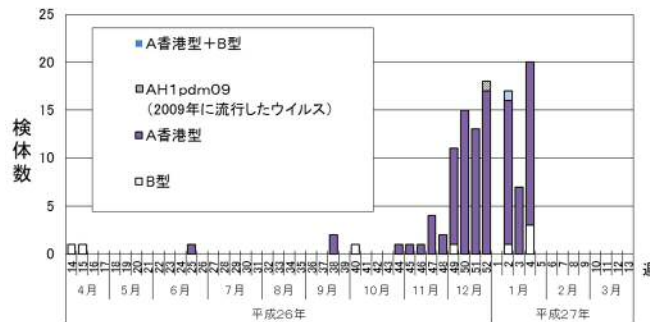
インフルエンザ(警報基準値:定点当たり30人、注意報基準値:定点当たり10人)

【川崎市】

今期は9月2件、10月19件、11月507件、計528件の報告がありました。過去5年平均の報告数と比較すると9月1%、10月1%、11月44%ですが、新型インフルエンザが流行した平成21年を除くと、平成11年のデータ収集開始以降、最も早い時期に流行発生注意報(第50週)及び流行発生警報(第52週)が発令されました。



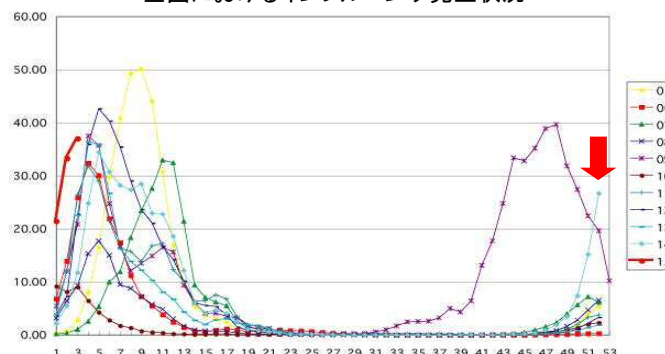
なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。今シーズンは、AH3亜型が105件、AH1pdm09型が1件、B型が6件検出されており、AH3亜型とB型の混合が1件検出されました。



【全国及びその他】

全国的にも例年より早い時期から患者報告数が増加しました。

全国におけるインフルエンザ発生状況



<小児科定点対象疾患>

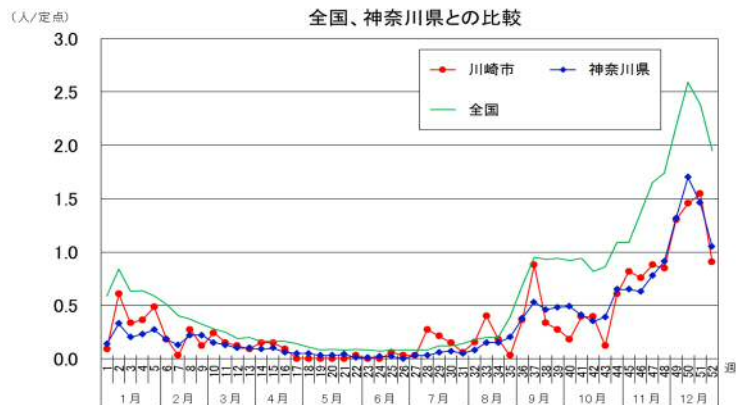
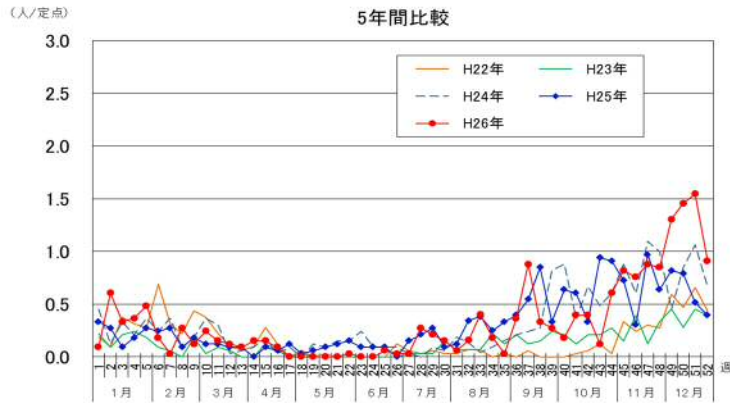
RSウイルス感染症

【川崎市】

今期は9月 61件、10月 56件、11月 109件、計 226件の報告がありました。

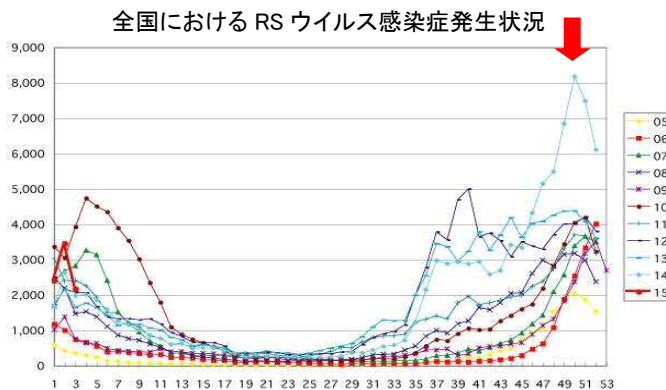
過去5年平均の報告数と比較すると9月 193%、10月 121%、11月 183%と、例年より高いレベルで推移しました。なお、第49週（1.30人）、第50週（1.45人）、第51週（1.55人）には、平成15年のデータ収集開始以降、過去最多の報告数を更新しました。

また、年齢別では約76%が1歳以下でした。



【全国及びその他】

全国的にも例年より高いレベルで推移しました。

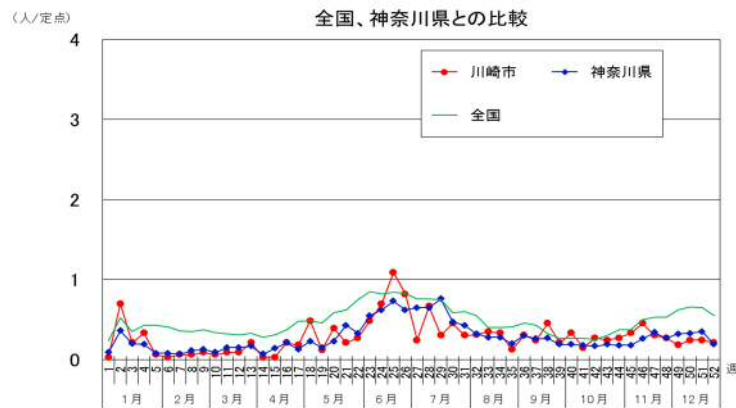
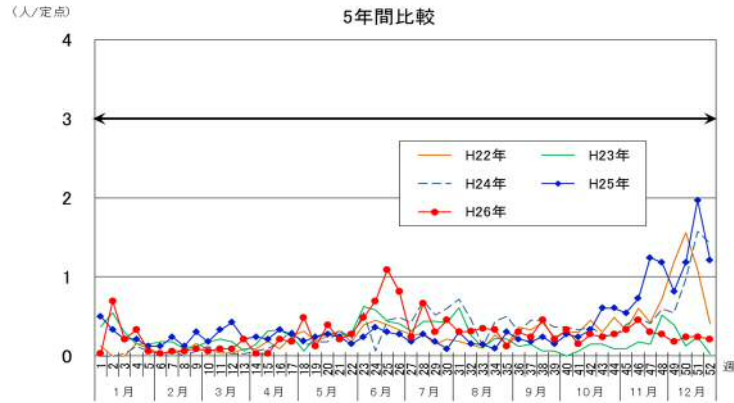


咽頭結膜熱(警報基準値:定点当たり3人)

【川崎市】

今期は9月40件、10月42件、11月45件、計127件の報告がありました。過去5年平均の報告数と比較すると9月126%、10月123%、11月83%と、9月及び10月に例年より高いレベルで推移しました。

近年では、従来流行のあった夏期に患者数が増加せず、冬期に患者数が増加する傾向が続いていましたが、今期は目立った流行等は認められず、流行発生警報基準値(3)を超えた週はありませんでした。



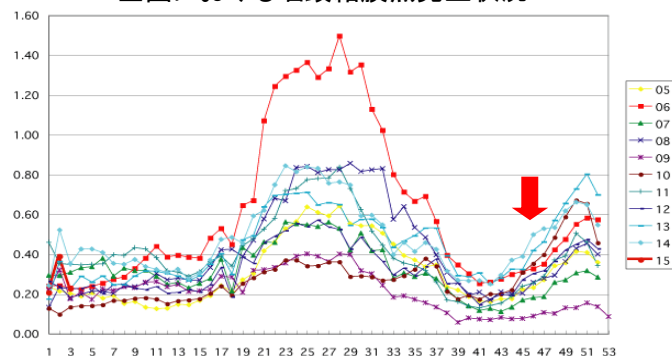
なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	検査結果	患者性別	患者年齢
H26.9.19	多摩	アデノウイルス3型	女	3
H26.9.30	宮前	アデノウイルス3型	男	6
H26.9.30	宮前	陰性	男	7

【全国及びその他】

全国的にも例年より高いレベルで推移しました。

全国における咽頭結膜熱発生状況



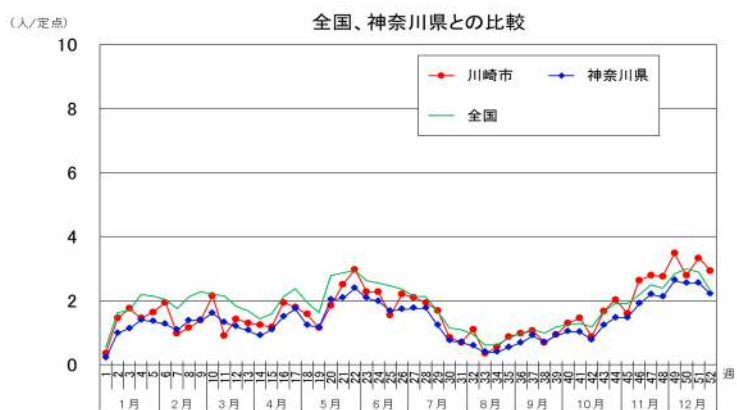
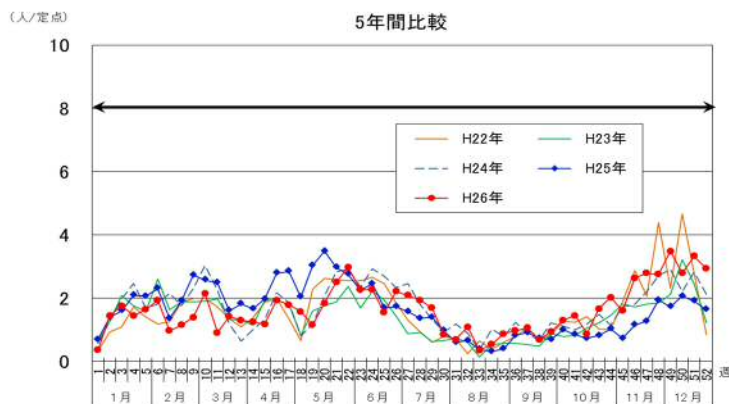
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(警報基準値:定点当たり8人)

【川崎市】

今期は9月 121件、10月 242件、11月 323件、計 686件の報告がありました。

過去5年平均の報告数と比較すると9月 107%、10月 170%、11月 151%と、例年より高いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値(8)を超えた週はありませんでした。

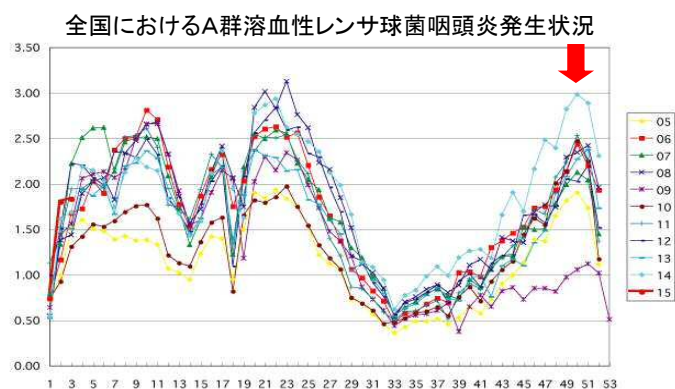


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	検査結果	T型別	患者性別	患者年齢
H26.9.9	多摩	溶血性レンサ球菌 A 群	4	男	5
H26.9.17	多摩	溶血性レンサ球菌 A 群	4	男	7

【全国及びその他】

全国的にも例年より高いレベルで推移しました。



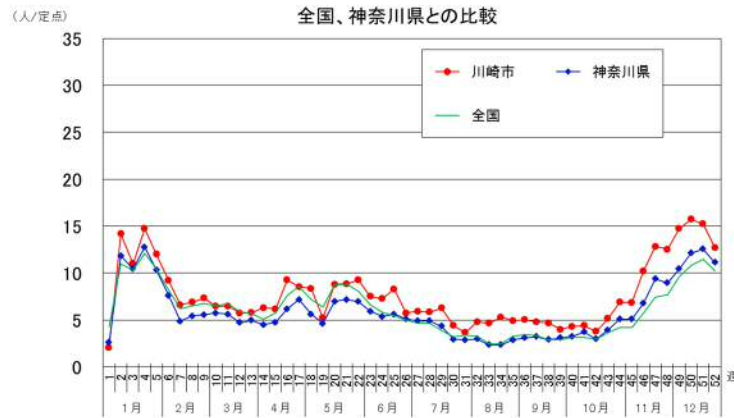
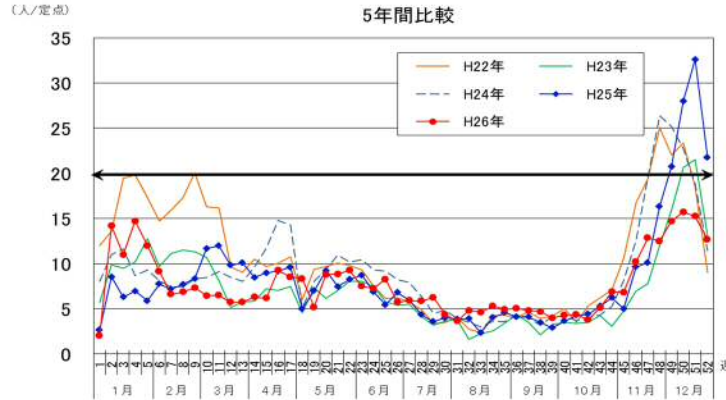
感染性胃腸炎(警報基準値:定点当たり 20 人)

【川崎市】

今期は9月 612 件、10月 809 件、11月 1,400 件、計 2,821 件の報告がありました。

過去5年平均の報告数と比較すると9月 116%、10月 138%、11月 105%と、例年よりやや高いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (20) を超えた週は高津区で第 46 週(20.00)でした。



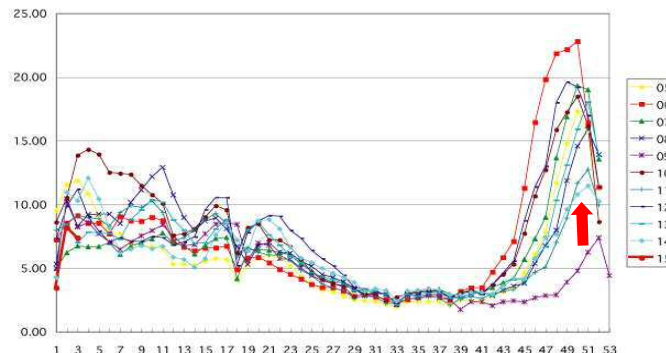
なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	検査結果(ウイルス)	血清型	検査結果(細菌)	患者性別	患者年齢
H26.9.11	多摩	陰性		陰性	女	0
H26.9.26	宮前	ノロウイルス	G2	陰性	女	1

【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

全国における感染性胃腸炎発生状況



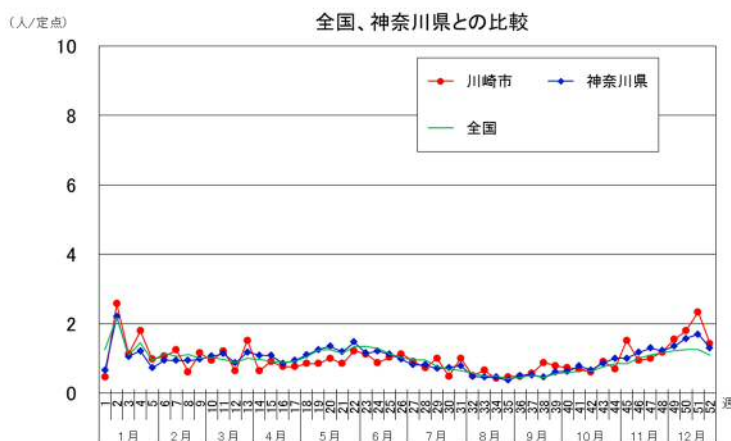
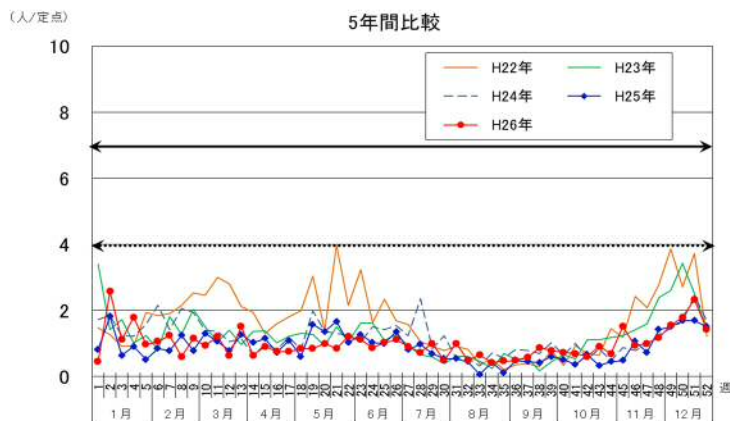
水痘(警報基準値:定点当たり7人、注意報基準値:定点当たり4人)

【川崎市】

今期は9月90件、10月120件、11月153件、計363件の報告がありました。

過去5年平均の報告数と比較すると9月114%、10月123%、11月98%と、ほぼ例年並みのレベルで推移しました。

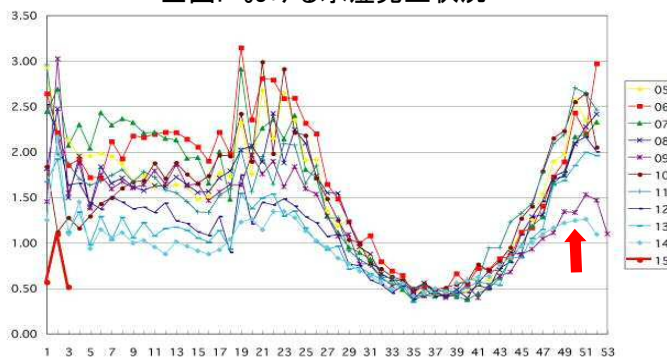
今期、流行発生注意報基準値(4)を超えた週は幸区で第38週(4.25)でした。



【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

全国における水痘発生状況



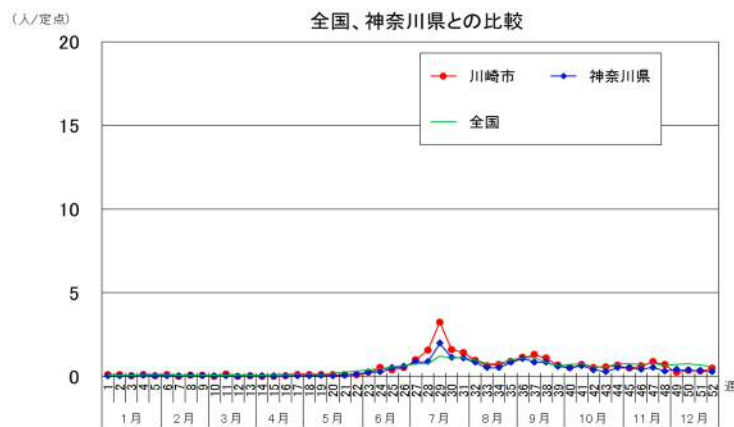
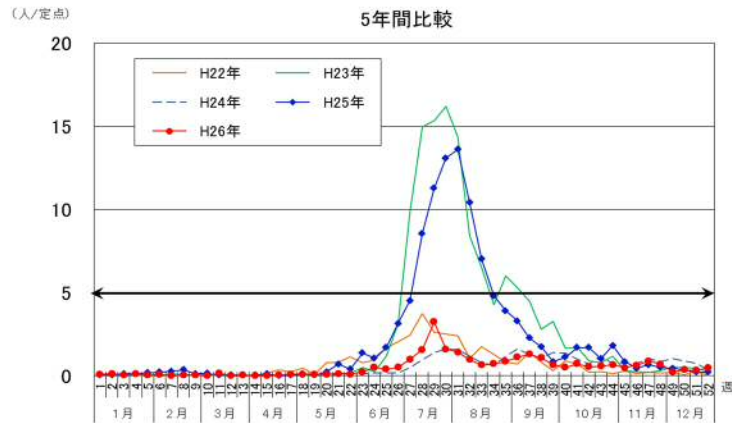
手足口病(警報基準値:定点当たり5人)

【川崎市】

今期は9月138件、10月100件、11月89件、計327件の報告がありました。

過去5年平均の報告数と比較すると9月49%、10月72%、11月137%と、11月に例年より高いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値(5)を超えた週はありませんでした。

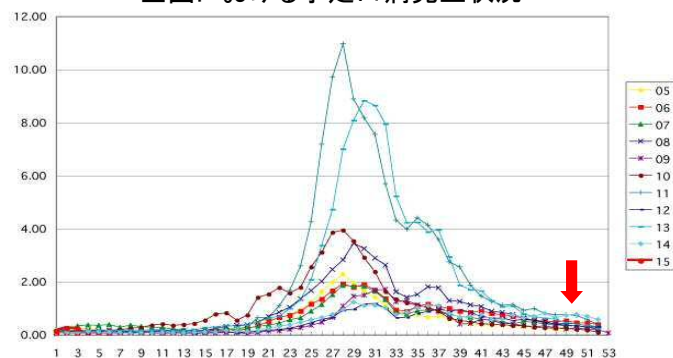


なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的にも11月に例年より高いレベルで推移しました。

全国における手足口病発生状況

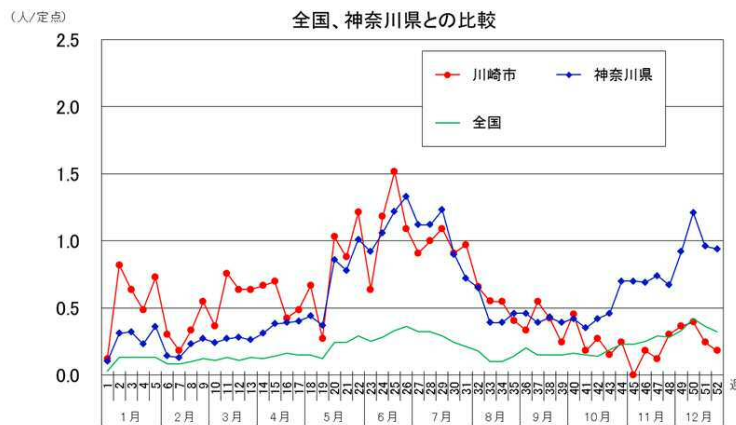
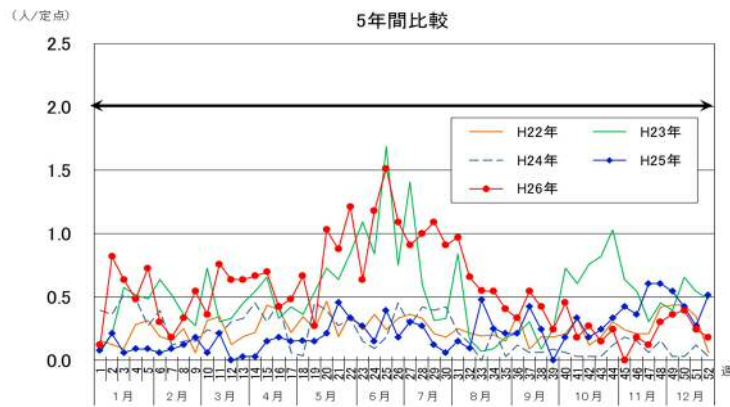


伝染性紅斑(警報基準値:定点当たり2人)

【川崎市】

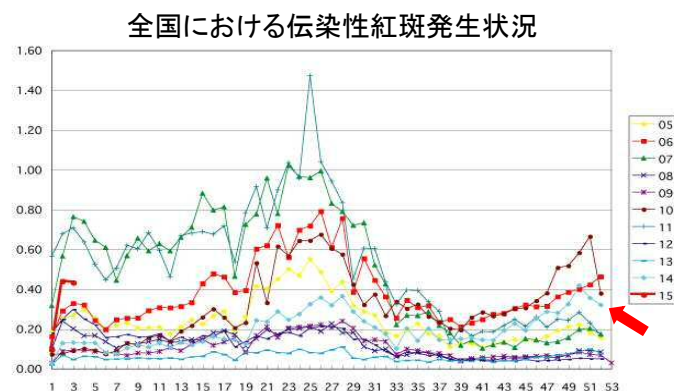
今期は9月51件、10月43件、11月20件、計114件の報告がありました。過去5年平均の報告数と比較すると9月172%、10月109%、11月44%と、9月と10月に例年より高いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値(2)を超えた週はありませんでした。



【全国及びその他】

全国的にも例年よりやや高いレベルで推移しました。

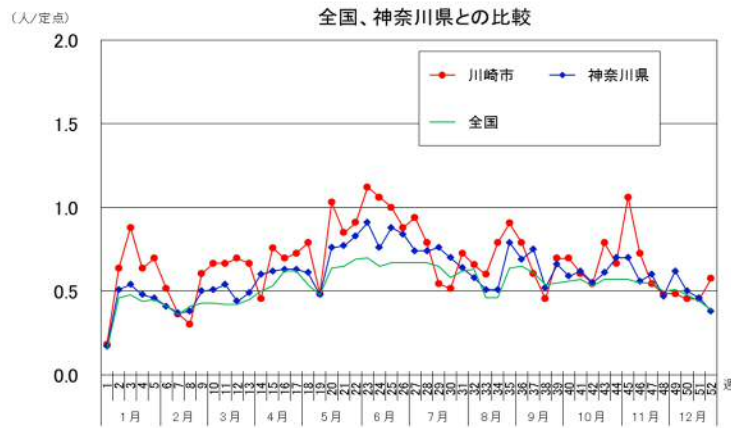
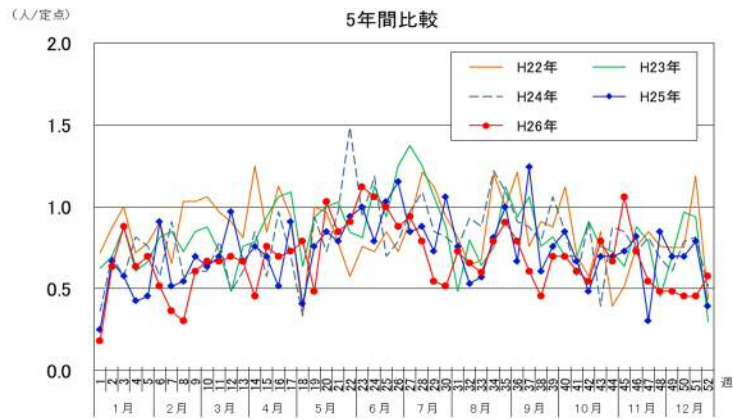


突発性発しん

【川崎市】

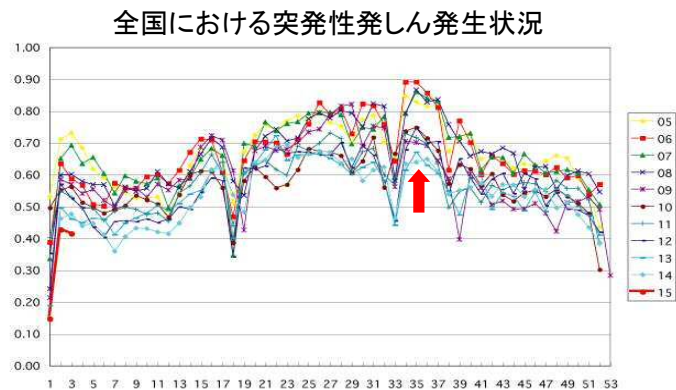
今期は9月84件、10月109件、11月93件、計286件の報告がありました。過去5年平均の報告数と比較すると9月64%、10月100%、11月92%と、ほぼ例年並みのレベルで推移しました。

また、例年と同様、年齢別では1歳以下が約88%を占めていました。



【全国及びその他】

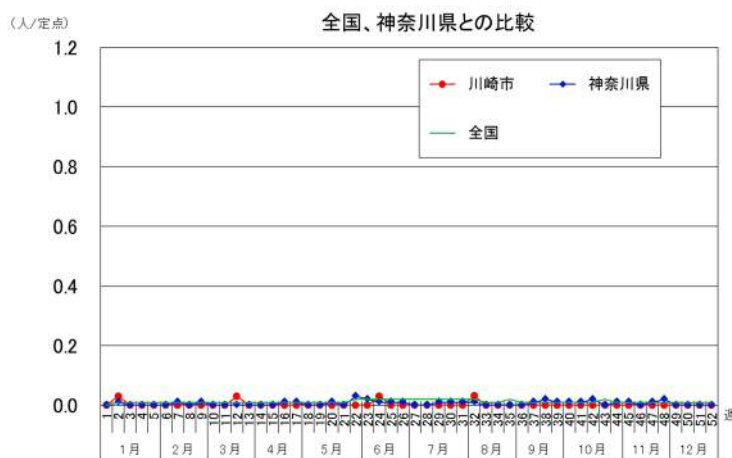
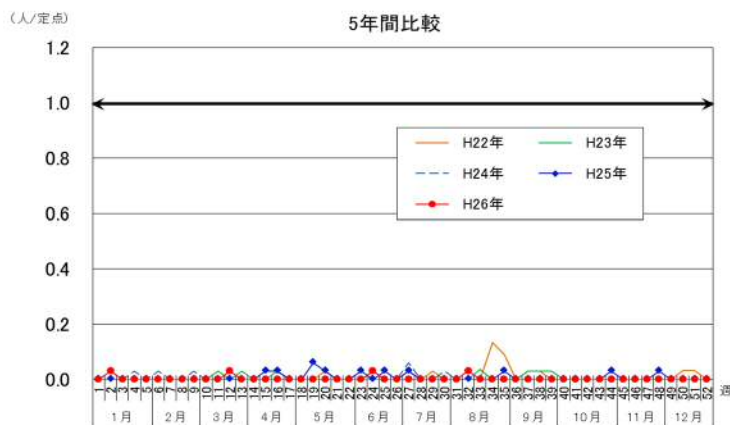
全国的には例年より低いレベルで推移しました。



百日咳(警報基準値:定点当たり1人)

【川崎市】

今期は報告がありませんでした。

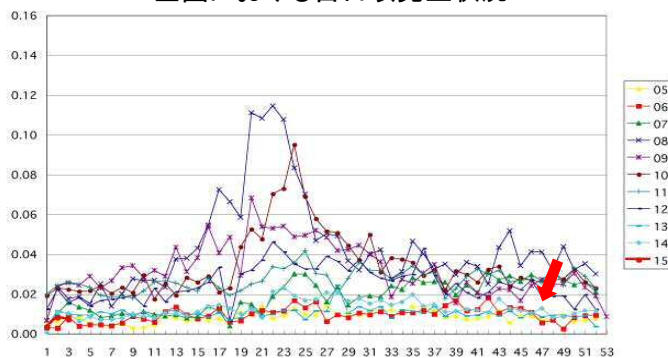


病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

全国における百日咳発生状況

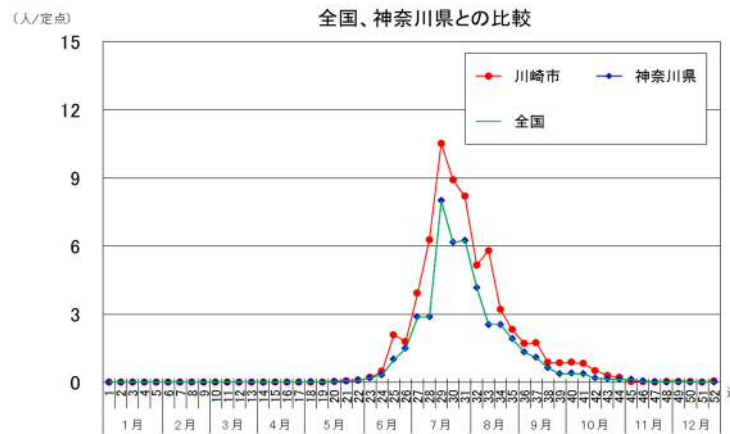
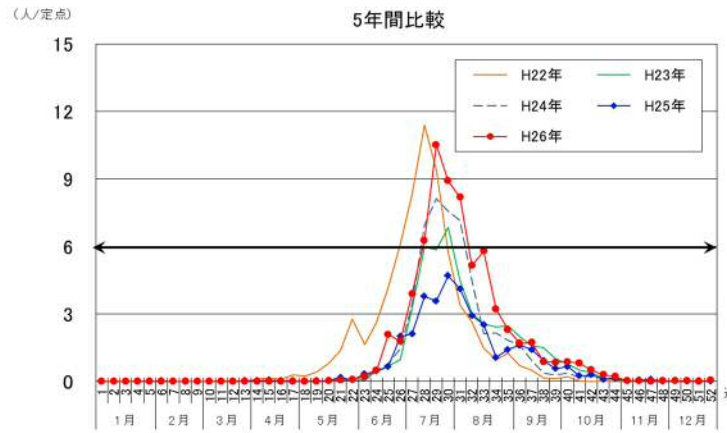


ヘルパンギーナ(警報基準値:定点当たり6人)

【川崎市】

今期は9月170件、10月90件、11月3件、計263件の報告がありました。過去5年平均の報告数と比較すると9月116%、10月278%、11月68%と、9月と10月に例年より高いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値(2)を超えた週はありませんでした。

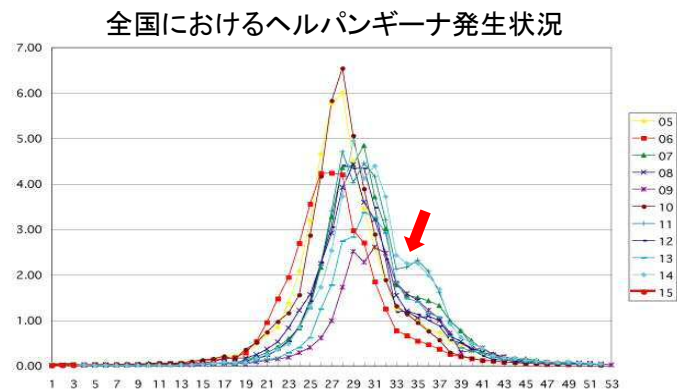


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	検査結果	検査結果(亜型)	患者性別	患者年齢
H26.10.7	多摩	コクサッキーウイルス	A4	男	1

【全国及びその他】

全国的にも例年より高いレベルで推移しました。



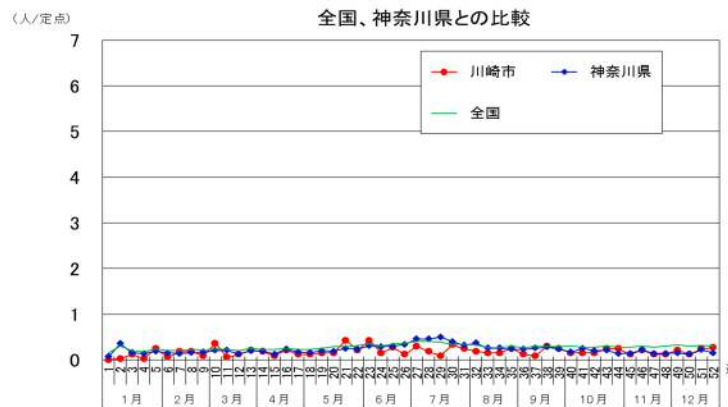
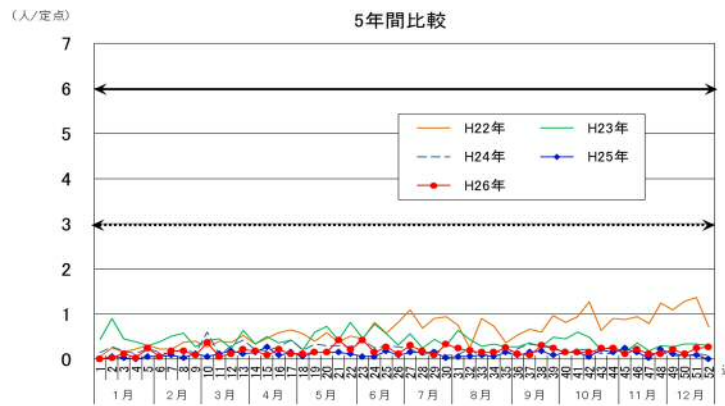
流行性耳下腺炎(警報基準値:定点当たり6人、注意報基準値:定点当たり3人)

【川崎市】

今期は9月25件、10月31件、11月19件、計75件の報告がありました。

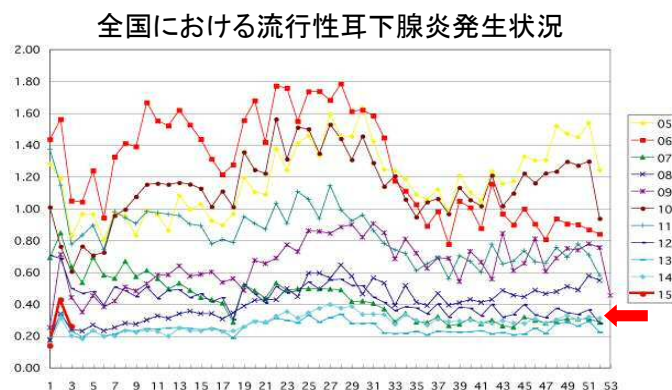
過去5年平均の報告数と比較すると9月49%、10月53%、11月41%と、例年よりかなり低いレベルで推移し、特に流行は認められませんでした。

今期、流行発生注意報基準値(3)を超えた週はありませんでした。



【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

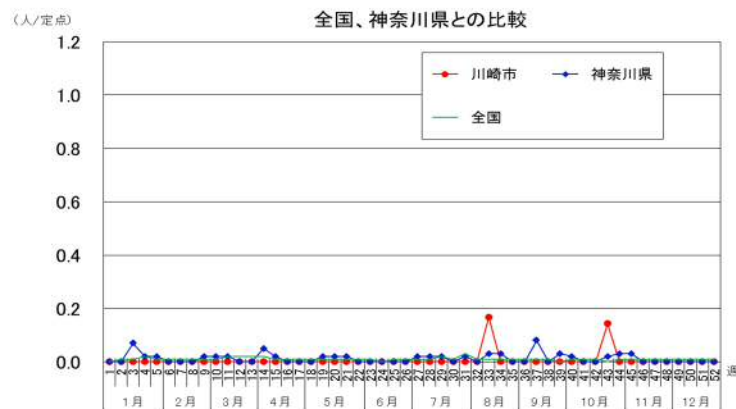
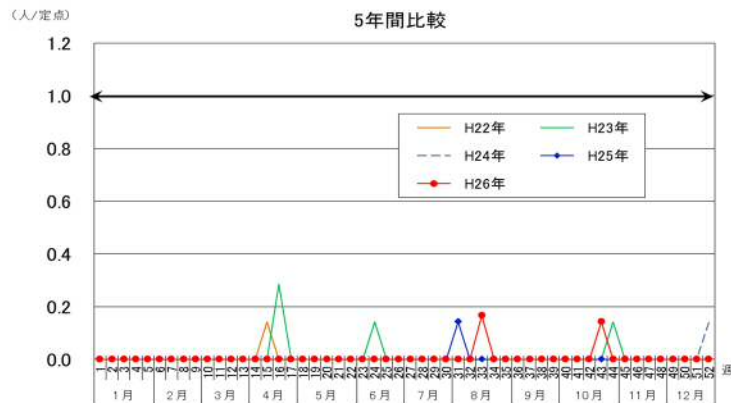


<眼科定点対象疾患>

急性出血性結膜炎(警報基準値:定点当たり1人)

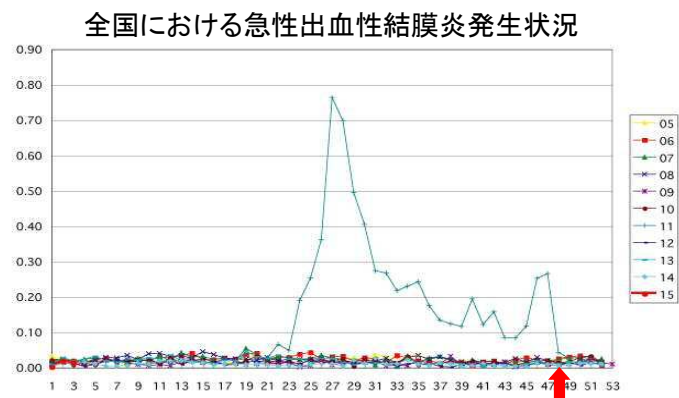
【川崎市】

今期は9月0件、10月1件、11月0件、計1件の報告があり、特に流行等は認められませんでした。
今期、流行発生警報基準値(1)を超えた週はありませんでした。



【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

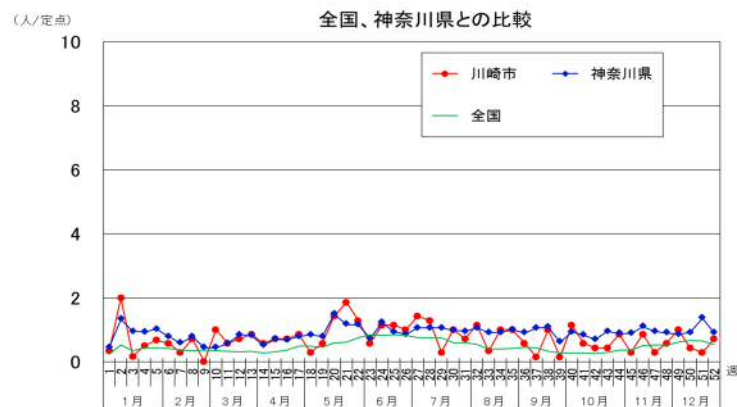
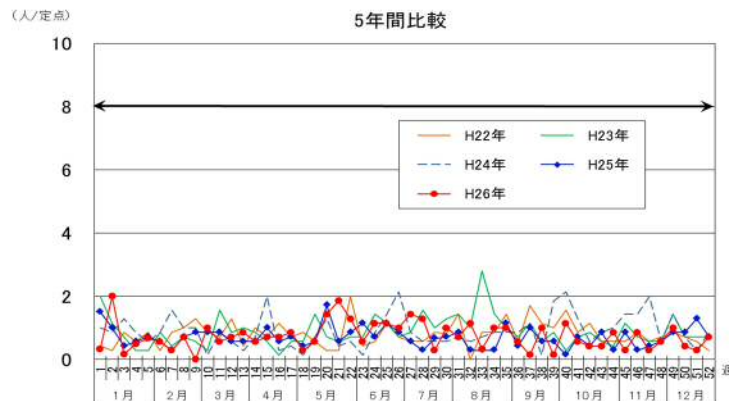


流行性角結膜炎(警報基準値:定点当たり8人)

【川崎市】

今期は9月13件、10月24件、11月14件、計51件の報告がありました。過去5年平均の報告数と比較すると9月50%、10月107%、11月65%と、9月と11月に例年より低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値(8)を超えた週はありませんでした。

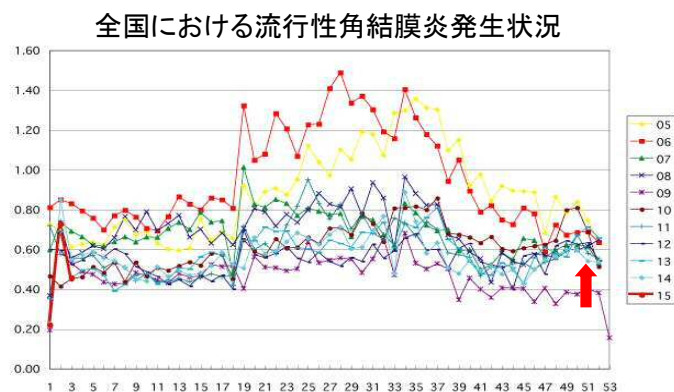


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	検査結果	検査結果(亜型)	患者性別	患者年齢
H26.9.1	川崎	アデノウイルス	56	女	32

【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。



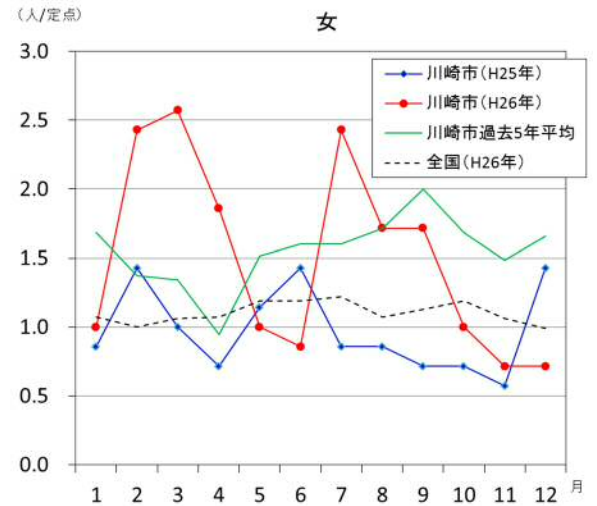
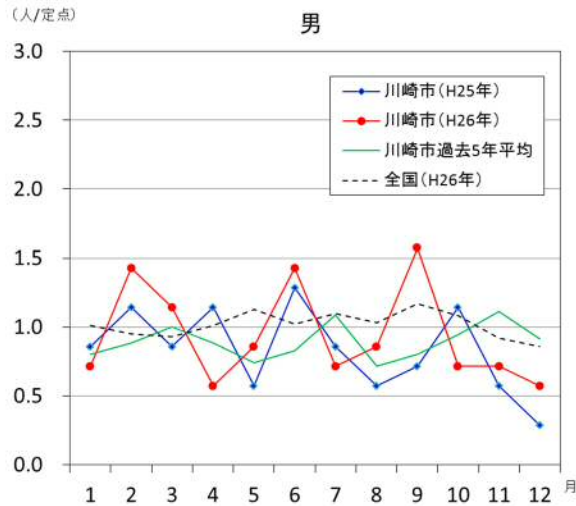
<性感染症定点対象疾患>

性器クラミジア感染症

【川崎市】

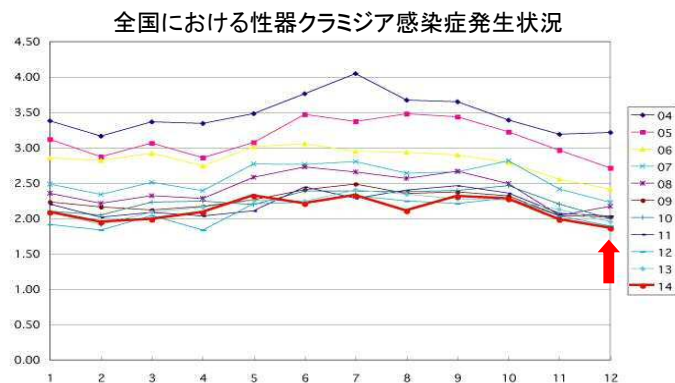
今期は9月23件、10月12件、11月10件、計45件の報告がありました。

過去5年平均の報告数と比較すると9月124%、10月65%、11月55%と、9月に例年より高く、特に男性の患者が多く報告されました。



【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

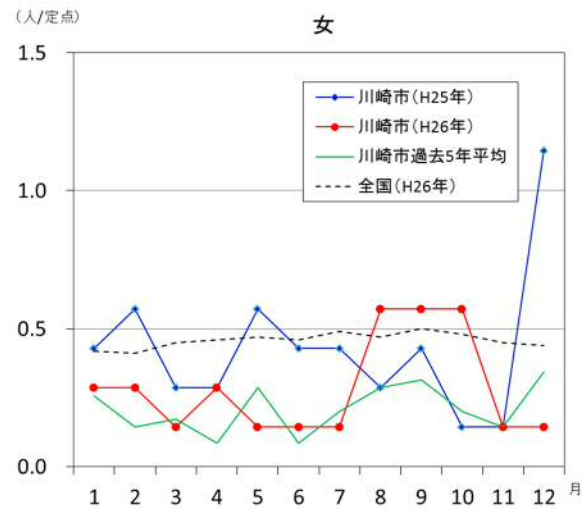
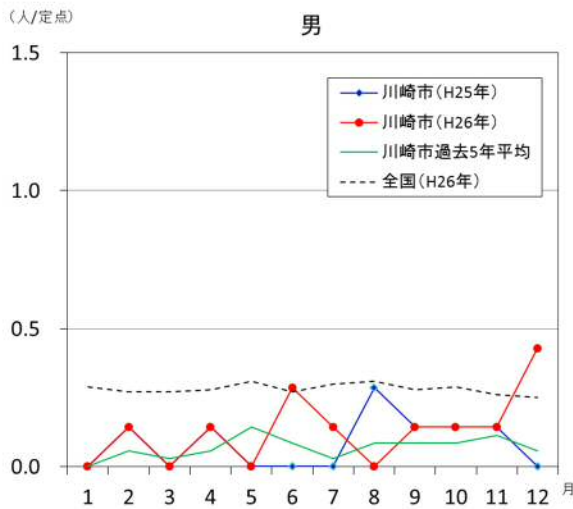


性器ヘルペスウイルス感染症

【川崎市】

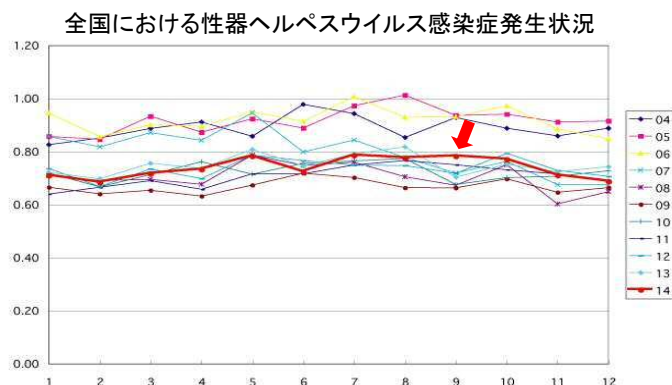
今期は9月5件、10月5件、11月2件、計12件の報告がありました。

過去5年平均の報告数は6.0件であり、例年より高いレベルで推移し、特に女性の患者が多く報告されました。



【全国及びその他】

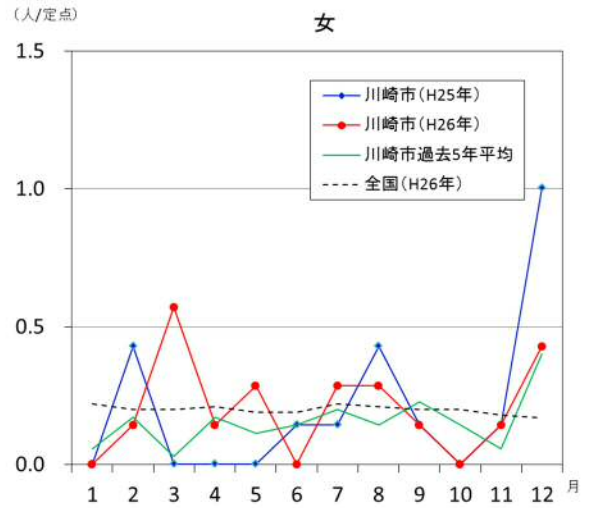
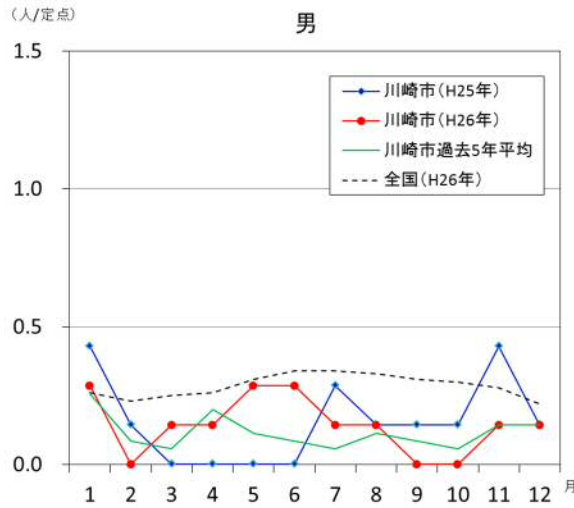
全国的にはほぼ例年並みのレベルで推移しました。



尖圭コンジローマ

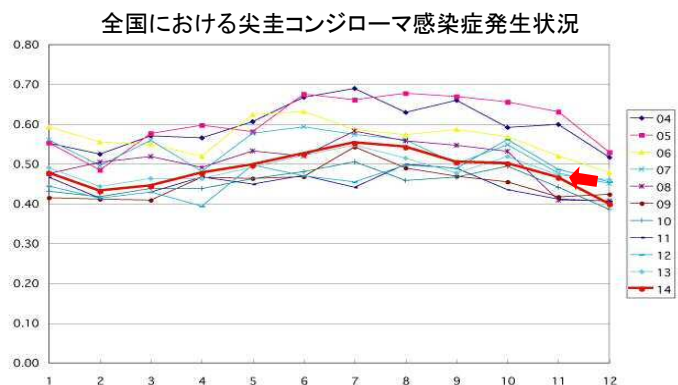
【川崎市】

今期は9月1件、10月0件、11月2件、計3件の報告がありました。
過去5年平均の報告数は4.8件であり、例年より低いレベルで推移しました。



【全国及びその他】

全国的にはほぼ例年並みのレベルで推移しました。

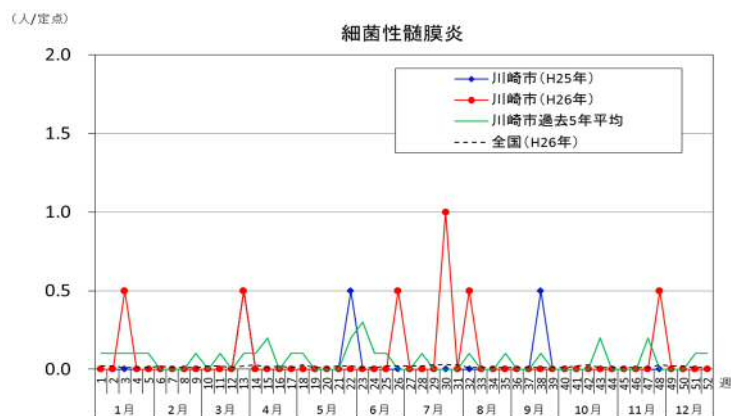


<基幹定点対象疾患（週報）>

細菌性髄膜炎

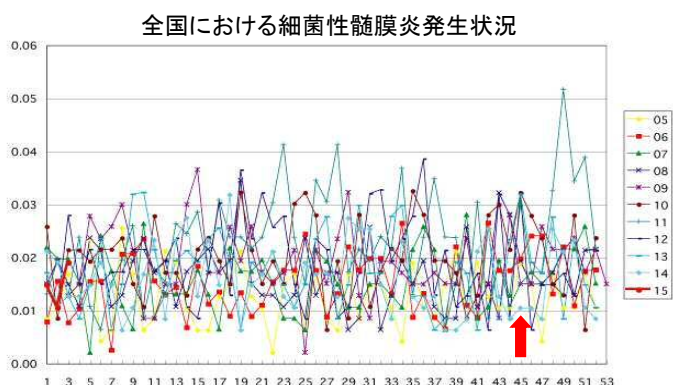
【川崎市】

今期は9月0件、10月0件、11月1件（*Streptococcus constellatus* 男性67歳）、計1件の報告がありました。過去5年平均の報告数は1.2件であり、ほぼ例年並みのレベルで推移しました。



【全国及びその他】

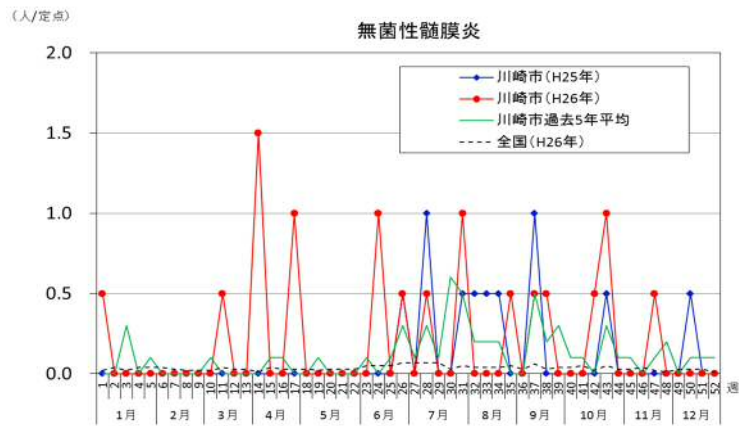
全国的にもほぼ例年並みのレベルで推移しました。



無菌性髄膜炎

【川崎市】

今期は9月2件、10月3件、11月1件、計6件の報告がありました。過去5年平均の報告数は3.6件であり、例年より高いレベルで推移しました。

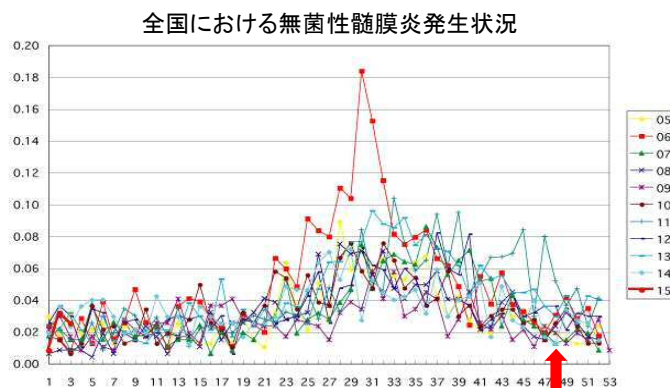


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

検体送付日	区名	検査結果	検査結果(亜型)	検出部位	患者性別	患者年齢
H26.9.1	川崎	陰性			男	36
H26.9.17	川崎	エコーウイルス	6	髄液・便	女	4
H26.9.22	川崎	エコーウイルス	11	髄液・咽頭ぬぐい液	男	16
H26.10.20	川崎	エコーウイルス	6	髄液	男	36
H26.10.24	川崎	陰性			女	6
H26.11.4	宮前	コクサッキーウイルス	B5	髄液	男	0
H26.11.17	川崎	エコーウイルス	11	髄液	男	0

【全国及びその他】

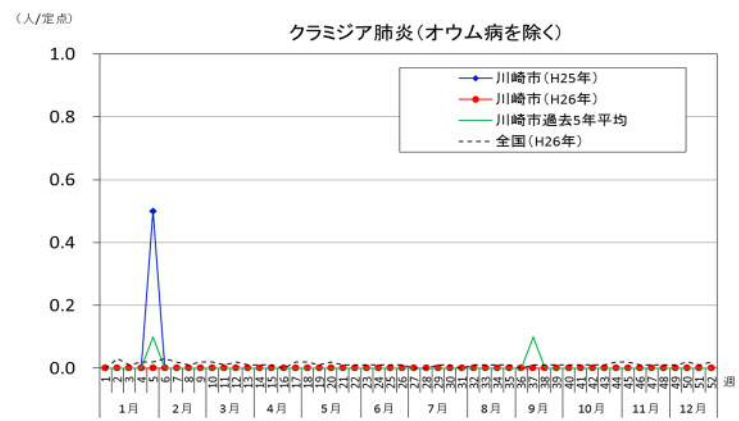
全国的にはほぼ例年並みのレベルで推移しました。



クラミジア肺炎(オウム病を除く)

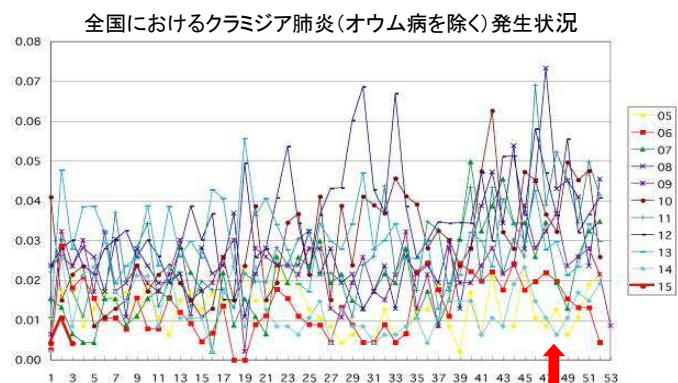
【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



【全国及びその他】

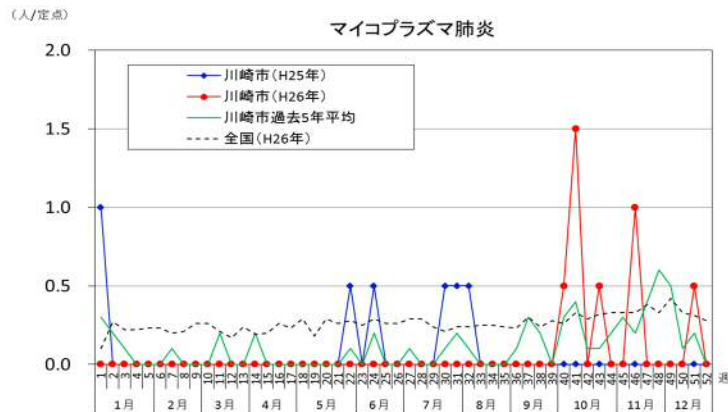
全国的にも例年より低いレベルで推移しました。



マイコプラズマ肺炎

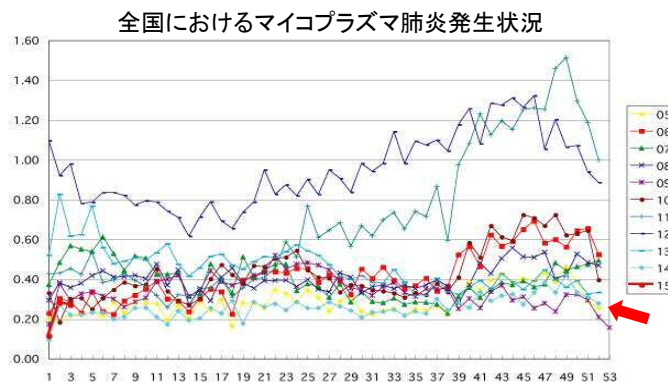
【川崎市】

今期は9月0件、10月5件、11月2件、計7件の報告がありました。過去5年平均の報告数は5.4件であり、例年より高いレベルで推移しました。



【全国及びその他】

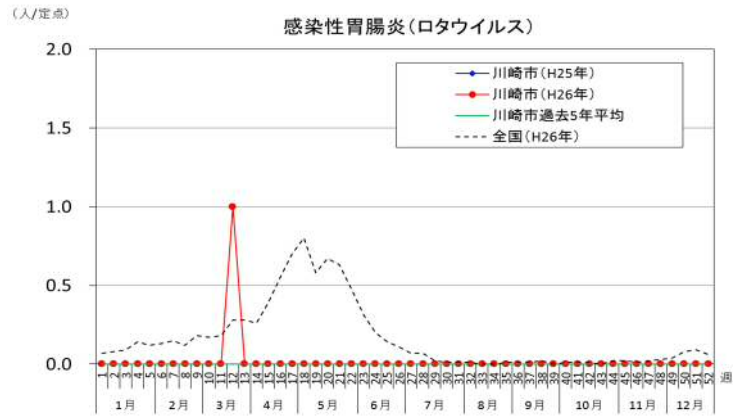
全国的には例年より低いレベルで推移しました。



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

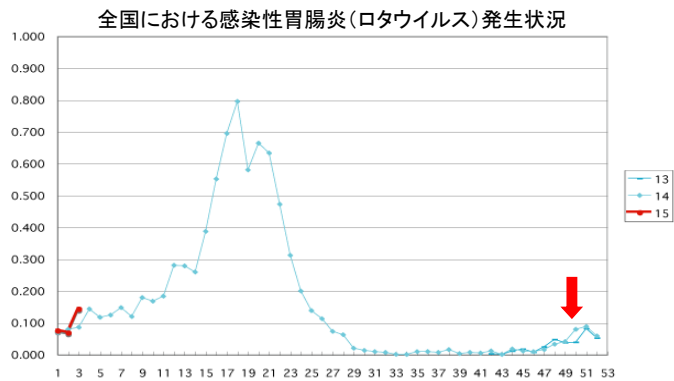
【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



【全国及びその他】

全国的には前年とほぼレベルで推移しました。



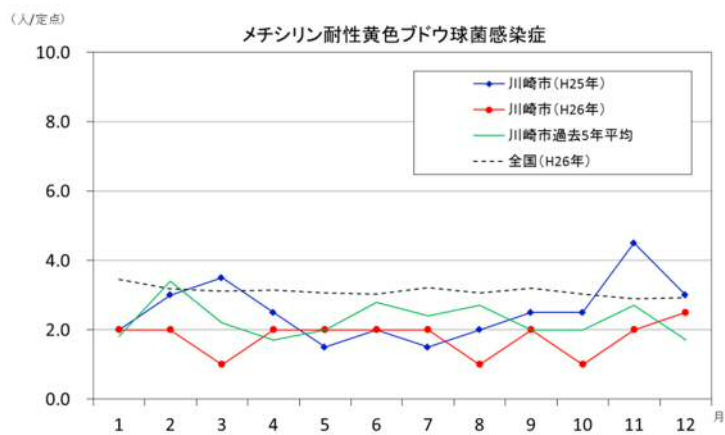
<基幹定点対象疾患（月報）>

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

【川崎市】

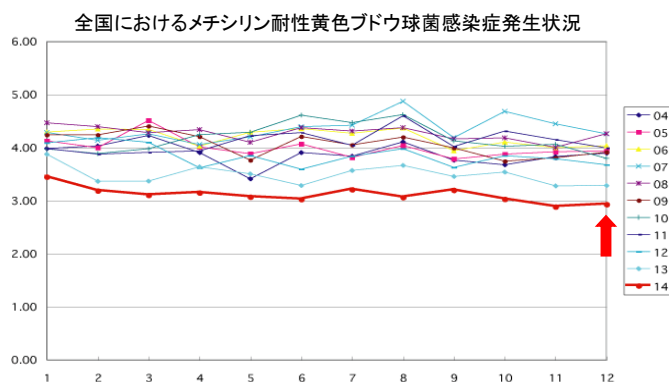
今期は9月4件、10月2件、11月4件、計10件の報告がありました。

過去5年平均の報告数は13.2件であり、例年より低いレベルで推移しました。



【全国及びその他】

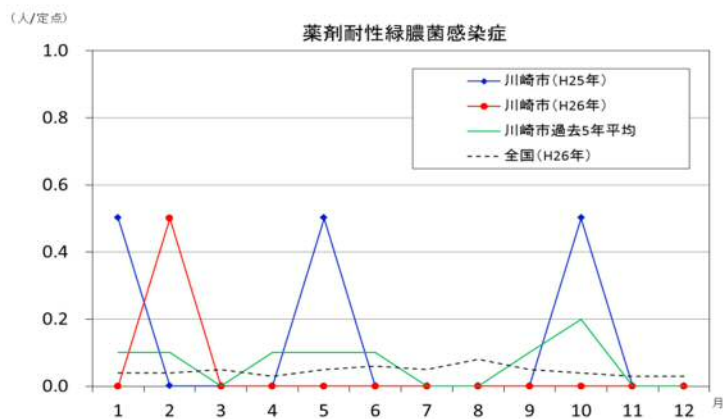
全国的にも例年より低いレベルで推移しました。



薬剤耐性緑膿菌感染症

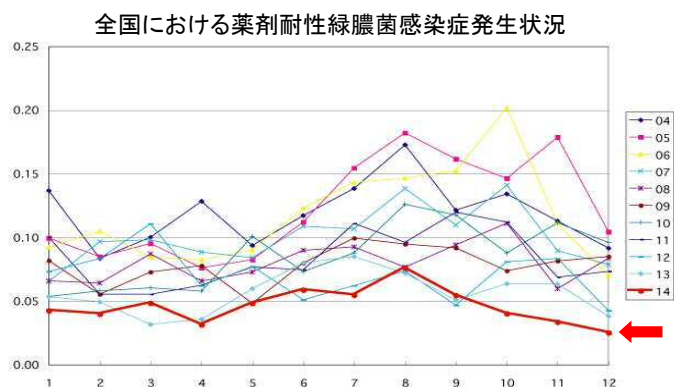
【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



【全国及びその他】

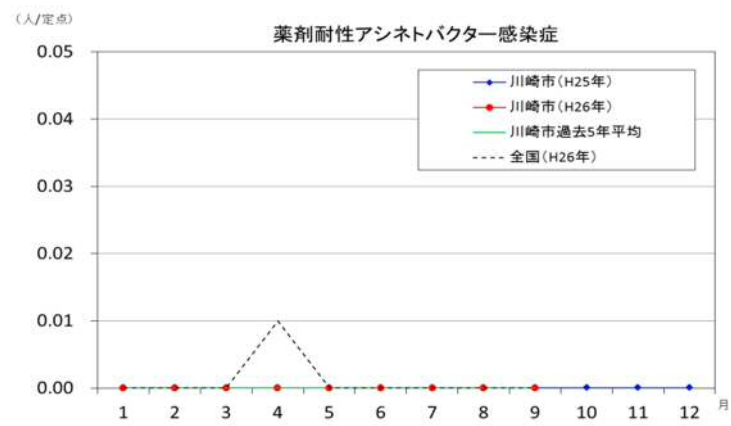
全国的にも例年より低いレベルで推移しました。



薬剤耐性アシネトバクター感染症

【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



【その他】

薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成 26 年 9 月 19 日から全数把握対象疾患に変更となりました。